

令和2年度に新たに発生した病害虫

令和2年度には新たに発生を認めた病害虫として13病害と11害虫が報告されました。ここではその一部を紹介します。

キャベツのヒメダイコンバエ



幼虫が結球下部を筋状に食害被害を受けた付近の葉が腐敗

りんごの黒星病（薬剤耐性菌の出現）



DMI剤とQoI剤は黒星病の防除には使用不可

デルフィニウムの キタネグサレセンチュウ



根が褐変し、生育の遅れや枯死

ぶどうのコスズメ



葉を食害
有機栽培では捕殺などの対応

他の新発生病害虫も含めた詳細な情報は、北海道病害虫防除所のホームページでご確認ください



連絡先 Contact

中央農業試験場
病虫部 予察診断グループ
0123-89-2001
central-agri@hro.or.jp

令和3年に特に注意を要する病害虫

水稻のヒメトビウンカ



一部地域で多発
効果の高い薬剤を使用

とうもろこしのツマジロクサヨトウ



R2年に道内で飛来を確認
圃場観察し早期発見が重要

野菜類のネギアザミウマ



薬剤散布開始が遅れないように注意
ねぎ、たまねぎ以外の野菜でも要注意
キャベツでは夏から効果の高い薬剤を散布

うり科野菜の土壌伝染性病害



着果時期、収穫時期に株が萎れる
毛細根を観察し早期発見を

りんごの腐らん病



近年、多発傾向で伝染源が多い
発病部位を除去して園内を清浄に保とう

注意を要する病害虫の詳細は、
北海道病害虫防除所のホームページで
ご確認ください



連絡先 Contact

中央農業試験場
病虫害部 予察診断グループ
0123-89-2001
central-agri@hro.or.jp